

# 店舗お役立ち情報

〒815-0063 福岡市南区高宮3丁目11-8  
TEL:092-522-3330 FAX:092-522-3332  
http://www.misezukuri.com



有限会社リード・クリエーション発行 2008

## 6月号

No.85



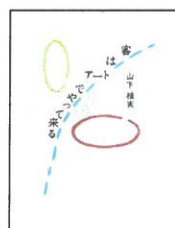
### アートスタイル経営 / 奇跡の宿「大黒屋」

「客はアートでやってくる」タイトルだけ聞いてもピンとこないこの本、実は栃木県・那須で現代アートを使って業績を伸ばしているすごい旅館、人呼んで「奇跡の宿」大黒屋の物語です。創業457年の老舗温泉旅館を受け継いだ16代当主 / 室井俊二氏は今を去ること20年程前、業績の落ち込みに悩む大黒屋にとって、リスクをとともなう大胆な「賭け」にでる。なぜなら、それは当時8000円前後だった湯治宿の宿泊費を、一気に倍額の1万6000円に増額し、しかも部屋数を10部屋から6部屋に減らすという、新たな挑戦ともいえる計画だったからだ。現代アートを用いた明快なコンセプトを掲げることで、この宿のテーマである「健康」や「文化」「知」「美」を求める客だけが共感し、そうではない客は足が遠のいていく、お客と直接に接するアートは、同じような「美意識」を持った客に宿泊してもらうための、重要な選別機として働いています。

「お客様は「神様」ではないと思います。「王様」だと思っています。もし、すべてのお客様が「神様」であるなら、大黒屋のスタッフはどんなことにも従わなくてはなりません。そうではなく、「お客様という王様」に使えるのが我々の仕事だと考えています。王様とは私どものコンセプトを選んで下さった、大切な方々のことです。お客様が「王様」だということは、私たちスタッフも自分が仕える「王様」を選ぶことができるということです。」

そう語る室井氏もアート経営導入までにはベテラン従業員の離脱やアート作品購入のための融資など相手にしてくれない銀行等、かなりの困難を伴いつつも、ひるまず挑む経営者としてのその姿勢は感動ものです。アートと経営を融合させて人を呼び込む、そんな秘密にせまれるおすすめの1冊です。(K)

保養とアートの宿 大黒屋 / <http://www.itamuro-daikokuya.com/>



「客はアートでやってくる」

東洋経済新報社  
著者：山下 祐実  
定価(税込)：1,470円

### 😊 お世話になりましたっ 巣立ち? ~Web担当:上野~

私、上野真佳は、5月を持ちましてリードクリエーションを退職いたしました。

リードクリエーションに来てからの2年弱の間にたくさんのお会いがありました。新たにお店を出す方々や、それを作り上げる方々の熱意に触れられた出会いの数々は他では得られない貴重な経験となりました。これからは別の道とはなりますが、そんな方々をサポートしていけたらと思います。(U)



## セルフエステサロン《mahalo(マハロ)》OPEN!

リード・クリエーション・プロデュース



5月15日、東京で大人気のセルフエステが中央区薬院にオープンしました。店名の「マハロ」とはハワイ語で「ありがとう」を意味します。セルフと言ってもスタッフが丁寧に指導してくれるので心配無用です。是非一度、人気の理由を確かめに行ってみてください。(G)



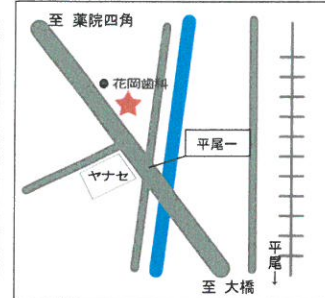
住所：福岡市中央区薬院3-7-17  
コスモビル1F

電話番号：092-524-8008

営業時間：13:00 ~ 19:45

店休日：火曜日

<http://blog.goo.ne.jp/8686mahalo>



### 《私の夫はマサイ戦士》の永松さんの講演会 in Mahalo

上記でご紹介いたしました“セルフエステ・Mahalo(マハロ)”のオーナー室岡さんの友人でありマサイ戦士の第二婦人でもあり、ケニア唯一のプロ添乗員でもある永松さんが、マハロのオープン記念として講演会をしてくださるといふことで、行ってきました。そもそも・・・マサイの人って?・・・



真ん中が永松さん。  
左はプリシラオーナーの知北さん



永松真紀 / 著 1967年福岡県北九州市生まれ。多くのリピーターを抱えるプロ添乗員。  
ナガマツ・マキ 1996年より本格的にケニアに移住し、2005年4月、本物のマサイ戦士であるジャクソンさんと結婚、第二夫人となる。最近、より深くアフリカを知るためのスタディーツアーにも力を入れている。

アフリカの何処?・・・何を食べてるのかな?・・・それにしても一緒に暮らせるの?・・・いろんな?顔して集まった人々。最近のアフリカやマサイ族の生活ぶり、環境の変化や未来の子供たちの話し・・・永松さんのキラキラした表情、澄んだ大きな声で聞かせてくれました。何より感動したのは、心からマサイという部族を尊敬し、何より『私の自慢は夫デス!』と胸を張って明るくおっしゃる彼女の笑顔は最高でした。又、マサイ戦士の写真を見てビックリ!イケメン揃い!精神は日本の武士道のような誇りを感じました。私たち、日本人は便利でキレイな社会で暮らしていますが、近頃は嫌な悲しくなる事件も多くなって、こんな日本ってど~なんだろう?・・・と改めて考えさせられた講演会でした。(M)

#### \* 編集後記 \*

私にとって、5月は別れの月でした。(LEAD BLOGで紹介してマス) 淋しいやら残念やら・・・年々、自分の感情を切り替えていくのに時間がかかっていくみたいデス。でも、いつの日か更に成長して頼もしくなった姿に会えるだろ~って考えてみると、それは嬉しいことですよネ! お別れが淋しい・・・と感じられるのは、お互いにちゃんと向き合って心から付き合ってきたからこそ。有難い事です。それに、私のことを理解してくれてるイイ仲間が、あっちこっちに散らばってる・・・ってコトはもしかして・・・いつの日か・・・全然関係ない土地で知らない人同士が繋がる可能性も・・・って奇跡的なロマン溢れる未来を想像してみると、淋しさもちょっと楽しさにも変わってくれそうです♪

BY. みちか